

大阪体育大学

昨年のインカレで初優勝を果たし、今年もまた関西女王の座を守りきり、堂々のインカレ第1シードを勝ち取った大阪体育大学。出場選手全員が高い得点能力を持ち、粘り強いDFにも磨きがかかり、彼女たちはさらに向かうところ敵なしといった感じだ。

そんなチームを見事にまとめ上げるのは、キャプテン金城 美咲。リーグ戦を振り返り、もっとDFのふんばり・粘りが必要と語っている。リーグ戦全勝優勝にも満足することなく、インカレへの意気込みをあくまで2連覇ではなく、もう一度インカレ優勝と語る彼女の姿からは、小さな体で部員66名を見事にまとめ上げている理由がはっきりと分かる気がする。

高確率の3ポイントシュートを得意とし、常にチームに勢いを与え続ける頼れるエース渡部 真代。昨年、全国制覇をしたにも関わらず、ライバルとするチームは全てのチームだと語る彼女は、常に挑戦者の気持ちを忘れずにプレイしていることが分かる。インカレを楽しんで優勝したいと語る彼女のおもいきりのいい3ポイントシュートが綺麗に決まる音が、コートに響き渡って欲しい。

関西女子リーグ戦ではリバウンド数110本で見事にリバウンド王に輝き、インサイドで力強いパワープレイをする大体大の大黒柱、藤井 香苗。一生懸命ルーズボールにも飛び込み、リバウンドも粘り強く頑張るチームであると自チームを語る通り、彼女も身長を生かし、果敢にリバウンドに飛びつき、チームに大きく貢献する。彼女が全国各地のセンタープレイヤーとどのように戦うのかが楽しみだ。

キレのいいドライブからの得点・アシストを量産し、大体大の攻撃の要である竹本 茜。激戦区である、関西女子リーグで2年連続で最優秀選手賞を受賞した彼女の力は本物である。また、84%の成功率で見事にフリースロー王にも輝いたことから、目立つプレイだけでなく、堅実なプレイをしている姿が見てとれる。李相佰杯争奪日韓学生バスケットボール競技大会のメンバーにも選ばれ、大きく成長した彼女が大暴れすることを期待しよう。

身長差を感じさせない、スピード感溢れるプレイを得意とする司令塔、田上 理賀。広い視野でゲームメイクをしっかりと行い、渡部、藤井、竹本などを生かした攻撃を華麗に繰り広げる。インカレでは、自分の役割を果たしチームを優勝へ導く!!と力強く語る。優勝へ導く・・・この言葉の裏に隠された強い思いが全面にプレイにでるのが楽しみだ。

大体大を選んだ理由を聞くと、彼女たちは口をそろえて中大路先生のバスケットがしたかったからだとする。彼女たちと中大路先生の信頼関係が大体大を、日本一へと大きく近付けていることは間違いない。選手、ベンチ、応援席、そして先生が一つになって戦いに挑む姿を是非、会場で見て頂きたい。



竹本 茜(3年)



渡部 真代(4年)



田上 理賀(3年)



藤井 香苗(4年)



一生懸命